

目次

<特集> ヘルスコミュニケーション学の研究方法論の探究

巻頭言

木内貴弘・・・1

総説

ヘルスコミュニケーション学の研究方法論の探究—これからの10年に向けて

木内貴弘、奥原剛、上野治香、岡田宏子、石川ひろの、高永茂、中山健夫、高山智子、  
河村洋子、加藤美生・・・2

総説

ヘルスコミュニケーションにおける専門家と非専門家の架橋

石崎雅人・・・7

総説

医療における対人コミュニケーション研究のアプローチ

石川ひろの、高永茂、川島理恵、野呂幾久子、藤森麻衣子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

総説

医療情報をどう作り、どう届けるか〜文書に関する研究アプローチ

中山健夫、高山智子、酒井由紀子、早川雅代、北澤京子、西村多寿子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

総説

映像を創る、映像を分析する

加藤美生、河村洋子、市川衛、渡邊清高、伊藤守・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

第11回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会優秀演題賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36

【口演発表部門】

健康教育漫画が行動実施の心理的なレディネスに与える影響

島崎崇史

うつ病発症時の受診促進をめざしたメッセージの開発と評価

須賀万智

【ポスター発表部門】

「患者の語り」を活用した医学生に対する共感教育の効果：授業前後と7か月後の検討

香川由美

視線解析を用いた救急医療インタラクションのマルチモーダル分析：メンバーの促し行為とリーダーの指示行為

土屋慶子